

会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖市社会教育委員会定例会		
開催日時	平成30年2月27日 16時	開催場所	市役所 2階第1会議室
出席者数	委員 13名 (欠席2名) 事務局 4名	傍聴人数	0人
議 題	(1) 平成30年度社会教育関係団体への助成について		
配布資料	・平成30年度社会教育関係団体への助成について（資料）		
所 管 課	(課名) 生涯学習課		(電話番号) 85-3694

議 事 録

1. 開 会

○生涯学習課長

2. 教育長あいさつ（教育次長代理）

○生涯学習課長

・市政功労表彰受賞者の報告

○被表彰者からのあいさつ

○生涯学習課長

・欠席委員の報告

3. 議 題

○議事進行(委員長)

・議事録署名人の選出

議題(1)平成30年度社会教育関係団体への助成について

生涯学習課担当より、社会教育関係団体等育成補助金交付要綱に基づき、平成30年度についても市内社会教育5団体(5団体)補助金を交付する旨の提案を行った。

【質疑、意見】 以下、○…委員 ●…事務局

○議題に入る前に、意見を述べる。

佐賀県社会教育委員連絡協議会主催の実践研修会において、グループワークを初めて行った。7～8人に分かれて、社会教委員の活性化について意見を交換した。

社会教育委員会は、県内1～2回が通常だったが、他の市町では3～5回ができて活性化しているところもある。

鳥栖市独自の研修会を事務局もしてほしい。委員の方も積極的に県の研修会に参加してほしい。

○説明の団体に補助をするのは結構だと思う。各団体の補助金額はどのくらいか。

●各団体への補助金額を説明

○補助金の申請団体はどこが認定しているか。

●社会教育団体として鳥栖市が認定しています。

○地域婦人会への補助について、婦人会が減っていると聞く。
婦人会の組織について説明を依頼。

○田代・若葉・弥生が丘・旭地区が婦人会連絡協議会に参加しており、会員は約150名。会員は減っているが、活動は増えている。

○青少年市民会議の補助金額が少ないと考える。もっと青少年に補助ができないのか。

●社会教育関係団体の育成、運営に対しての補助、事業、活動に対する補助を行っている。現在は、運営に対する補助が主となっている。青少年育成市民会議については、以前は、各地区に青少年育成の活動費を市民会議から各地区に補助をしていましたが、現在は各まちづくり推進協議会に市民活動支援補助金を交付している。

○婦人会の補助金額は、いつ頃からなのか。

●補助額は減っていますが、現在の額はいつ頃からは資料の持ち合わせがない。

○各地区婦人会が辞めている。婦人会の活動について理解されていない。今後も婦人会は支援していく必要がある。
また、ボウイスカウトの助成について、助成額が減っているので、今後の青少年のボランティア育成に必要であるため、助成額の増額を要望する。

○ほかになれば、承認という事にしたい。

4 .報告事項等

●事務局報告

- (1) 鳥栖市社会教育研修場の廃止について
 - (2) 鳥栖市母子保健連絡協議会委員の推薦について
 - (3) 九州ブロック社会教育研究大会の開催について
- それぞれ報告

5. 閉 会